

那須岳の火山活動解説資料（平成 26 年 12 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2 - ）
那須湯本（山頂火口（茶臼岳）の南東約 5 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、茶臼岳の噴気は少ない状態で、噴気の高さは火口上概ね 200m で経過しています。
- ・地震や微動の発生状況（図 2 - 、図 3）
今期間、火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。
火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図 4、図 5）
GNSS^注連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 那須岳 茶臼岳の状況（12月27日、那須湯本ツムジケ平遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧できます。次回の火山活動解説資料（平成 27 年 1 月分）は平成 27 年 2 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

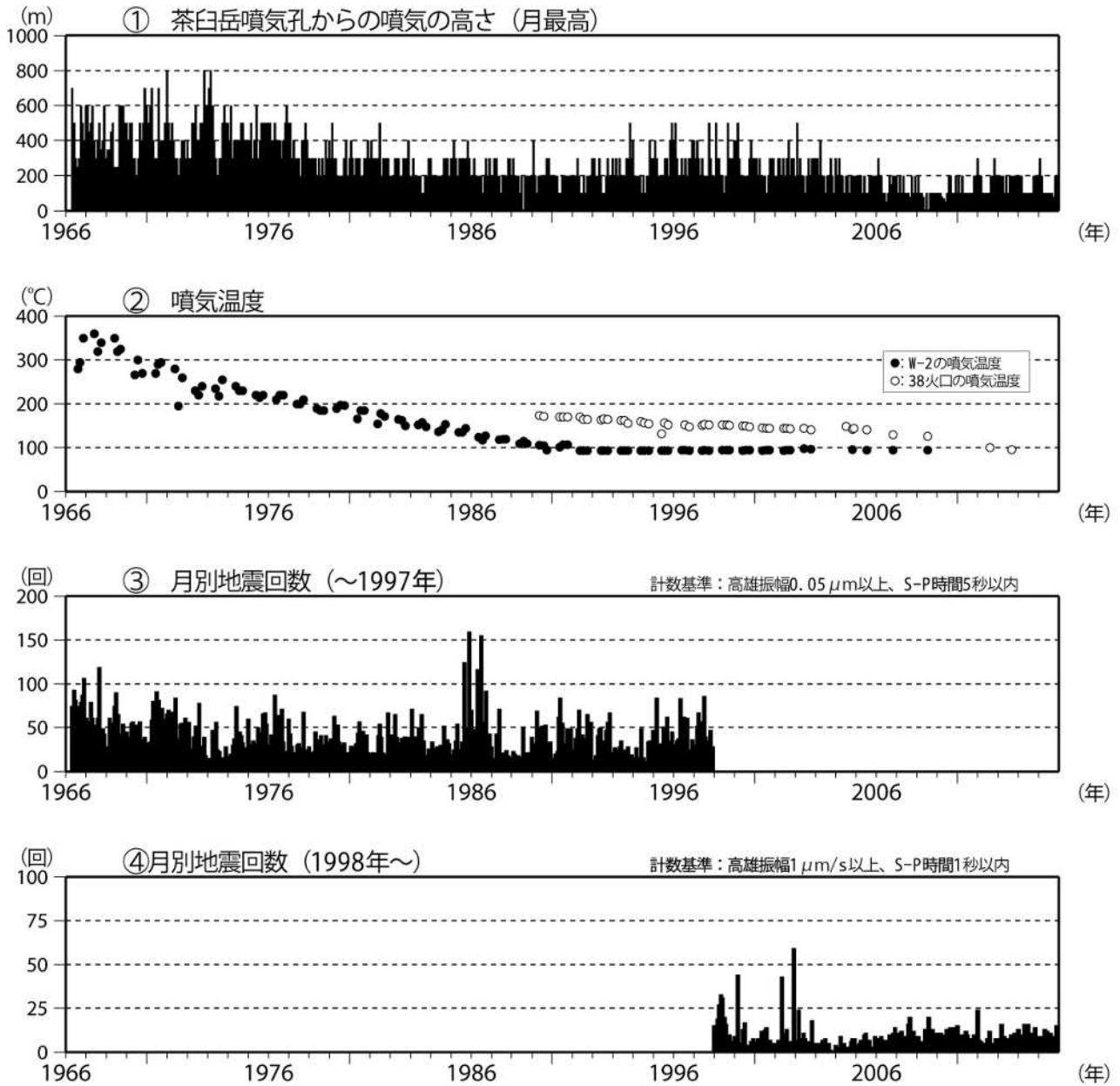


図2 那須岳 火山活動経過図 (1966年1月~2014年12月)
 定時観測 (09時・15時) による月別最大噴気の高さ
 噴気温度 (W-2 及び 38 火口はいずれも茶臼岳西側斜面の温度観測地点)
 那須岳周辺も含めた月別地震回数 (~1997年)
 那須岳山体付近に発生した月別地震回数 (1998年~)

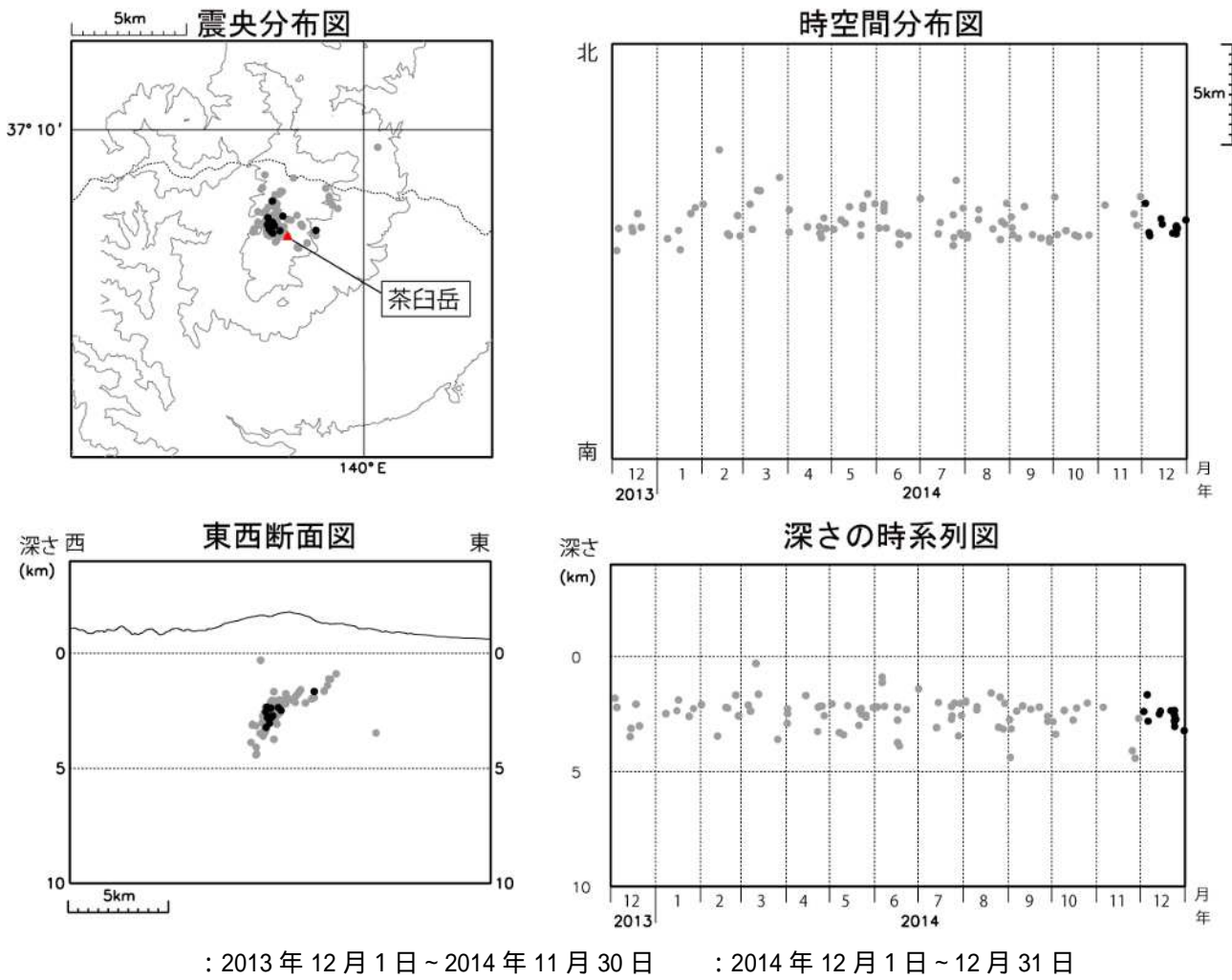


図3 那須岳 震源分布図（2013年12月1日～2014年12月31日）

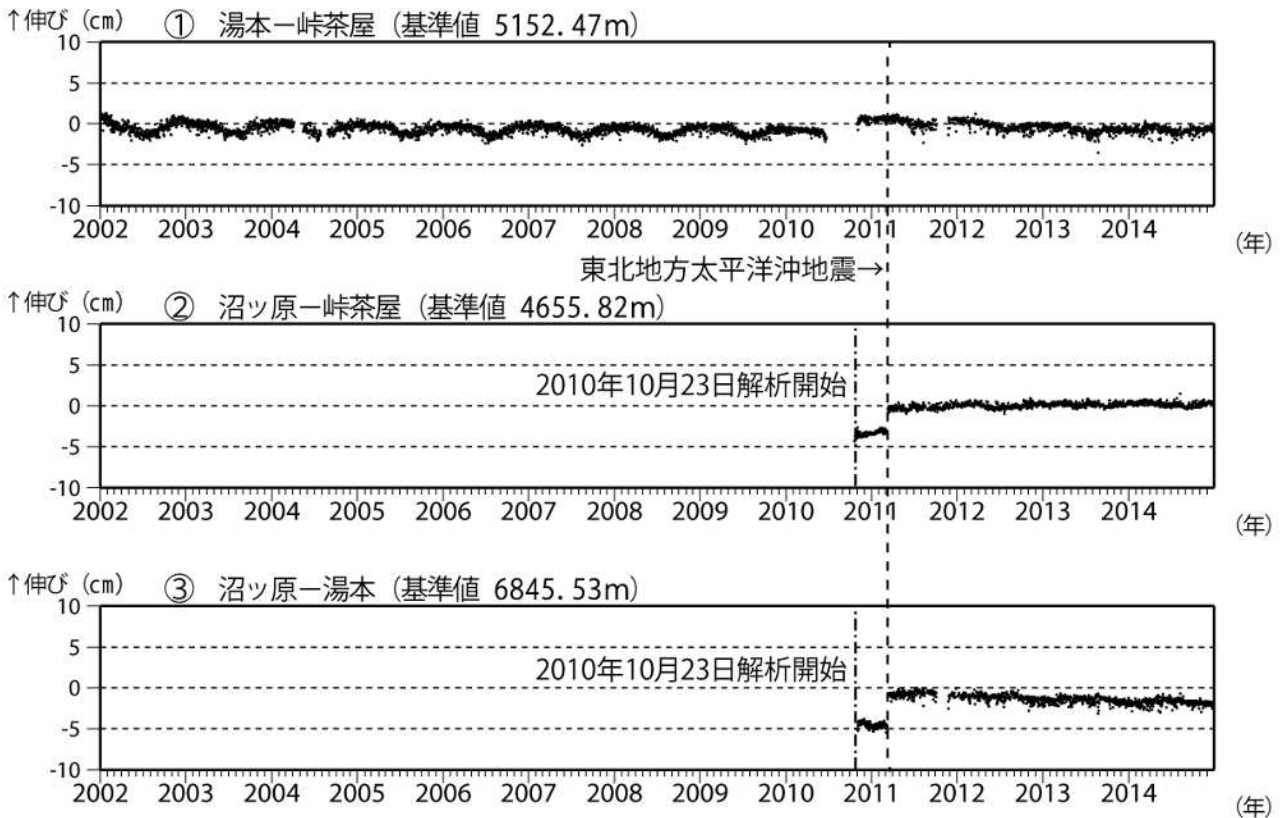


図 4 那須岳 GNSS 連続観測による基線長変化（2002 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日）
 2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
 基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
 2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、ステップ状の変化がみられます。
 ～ は図 5 の GNSS 基線 ～ に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

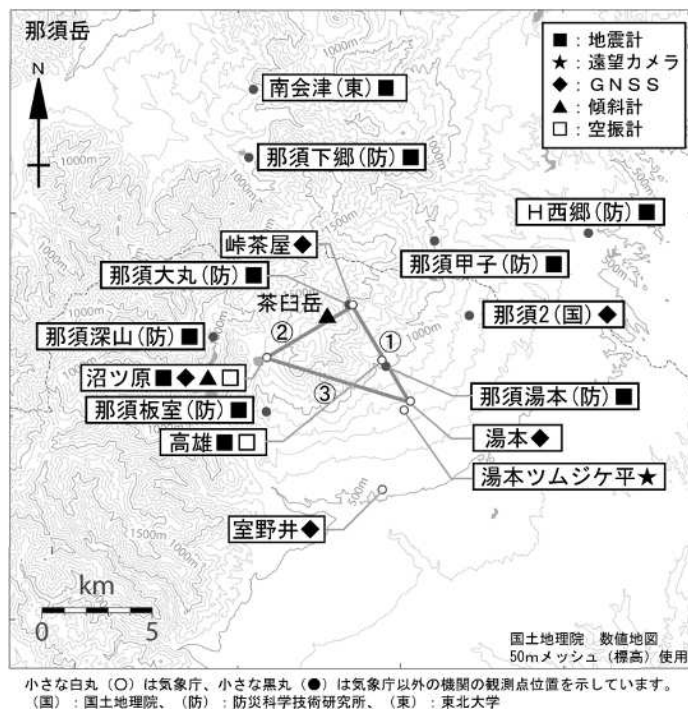


図 5 那須岳 観測点配置図

GNSS 基線 ～ は図 4 の ～ に対応しています。